

Château BADETTE

GRAND CRU CLASSÉ
SAINT EMILION GRAND CRU



Famille Vandenbogaerde

ヴィンヤード



土壌

石灰粘土質, 砂の多い粘土,
砂・粘土



垣根栽培

機械式



性フェロモン作用の利
用



平均密度
7,000 株 /ha



平均齢
25 年

特長

葡萄品種: メルロ 67%、カベルネ・フラン 28%、プティ・ヴェルド 5%。

私たちの実践: 除草剤不使用、合理的農業、緑肥と永続的な草の被覆、葉の間引き、グリーン・ハーヴェスト。

収穫



籠を使った手摘み

果実の選別: 糖度計, 手動

特長

500 リットルの樽と小さなステンレス・タンクで区画ごとに醸造。45 日間の 醗酵後、低温マセラシオン。

総生産量: 40,000 60,000 本。

栽培品種:

- Château Badette
- La Fleur de Badette
- Le Grand Monsieur Badette



物件のご紹介



アペラシオン

Saint-Émilion Grand Cru



エリア

10 ha



私たちの価値観

High Environmental Value (HVE)



クルー

M. Arnaud Vandenbogaerde

所有者

M. Jean Philippe Fort

ワイン醸造技術者

M. Mathieu Richard

テクニカル・ディレクター

アペラシオン

Saint-Émilion Grand Cru

アサンブラージュ

Merlot : 80 %
Cabernet franc : 15 %
Petit Verdot : 5 %

当社の樽熟成

50 %新樽、50 % 1年樽

収量: 45 hl/ha

生産量: 25 000 本

技術データ

アルコール含有量: 15 %
ピーエッチ: 3.62
全酸性: 3.9 g/L

テイastingノート

シャトー・バデット 2020 は、ほとんど黒に近い深い色調で、第一印象から魅了します。香りは力強く複雑で、煮詰めたブラックベリー、ブラックプラム、キルシュのアロマに、シダーやリコリスなどのエレガントな樽のニュアンス、甘いスパイス、そしてわずかなユーカリの香りが重なります。口当たりは豊かで寛大。密度のある果実味と豊かなアロマが広がります。よく熟した黒系果実に、エキゾチックでわずかにタルを思わせるニュアンスが絡み合います。構造はしっかりとしており、タンニンも力強いながらもよく溶け込んでいます。さらに顕著なフレッシュさが全体のバランスを整えています。余韻は長く豊かで、優れた熟成能力を感じさせます。気品と力強さ、調和を備えたヴィンテージです。

気象データ

2020年のボルドーのヴィンテージは、対照的な気候条件にもかかわらず、非常に優れた年の一つに数えられます。生育サイクルは早く、春の段階から夏のような気候のもとで芽吹きと開花が早く進みました。暑く乾燥した夏はブドウの成熟を早め、テロワールによって異なる水分ストレスが見られました。収穫は白ワイン用ブドウが8月末に開始され（非常に良好な衛生状態）、メルローは穏やかな天候のもと9月初旬に、カベルネは9月末、嵐アレックスの前に急いで収穫されることもありましたが。赤ワインは構造がしっかりしており、凝縮感とバランスを備えています。メルローは果実味豊かで色調が濃く風味豊か、カベルネは深みとフレッシュさを持ち、過度な青さは感じられません。早熟なテロワールでは特に素晴らしい成功を収め、調和の取れた味わいと高い熟成ポテンシャルを示しています。



評価点： 95 JEB DUNNUCK

複数回のテイस्टイングで評価されたシャトー・バデット 2020は、鉄分と粘土質の土壤に位置する7.58ヘクタールの小さな畑から生まれます。ブレンドはメルロー80%、カベルネ・フラン15%、プティ・ヴェルド5%で構成され、80%の新樽で16か月間熟成されています。

香りにはブルーベリー、カシス、春の花、そしてチョコレートを思わせるオークのニュアンスが美しく広がります。その結果、ミディアムからフルボディのサンテミリオンとなり、熟してよく溶け込んだタンニン、ヴィンテージ特有の純粋で凝縮したスタイル、そして美しい余韻を備えています。この見事なワインは、涼しいセラーで15~20年以上にわたり素晴らしく熟成していくでしょう。

94 THE WINE CELLAR INSIDER

花、チョコレート、エスプレッソ、リコリス、スモーク、ブラックベリー、プラムの香りがグラスから立ち上ります。ワインは豊かで豪華、フルボディでふくよか。長い余韻の中で果実の層が途切れることなく次々と現れます。このドメーヌは急速に評価を高めており、今後も注目すべき存在であるだけでなく、これまでに生み出された中で間違いなく最高のヴィンテージといえるでしょう。飲み頃は2023年から2042年まで。

94 The Wine Independent

バデット 2020 は、深いガーネット色に紫の輝きを帯びています。香りはシダーとスパイスボックスの支配的なニュアンスから始まり、次第にドライフルーツのタルト、クリスマスプディング、中国五香粉、タバコの葉や新たに耕された土の香りへと広がります。

口当たりは豊かで構造がしっかりしており、樽熟成が見事に溶け込んでいます。黒系果実の豊かな果実味が広がり、数々のスパイスのニュアンスがアクセントとなっています。全体はしっかりと粒立ちのタンニンに支えられ、特に魅力的なフレッシュな余韻で締めくくられます。

93 JAMES SUCKLING.COM

熟したベリー、リコリス、カカオ、ドライフラワー、グラファイトの香りが立ち上ります。口当たりはミディアムボディで、きめ細かく滑らかなタンニンとシルキーな質感に支えられています。全体として調和が取れており、洗練された印象を与え、余韻も長く続きます。今すぐ飲むことも、熟成させることも可能です。

92 Decanter

豊かで力強く、ボディもたっぷりしています。アルコール感のはっきり感じられ、果実は非常に熟しており、土台はしっかりと構築も堂々としています。全体としては繊細さを保っています。アルコール度数15%ながらワインはバランス良く、力強く濃縮感があり、時間とともに柔らかくなる可能性があります。口当たりはエレガントで、タンニンは細かくよく溶け込んでおり、酸味も感じられます。現時点では少し重厚に感じるかもしれませんが、スタイルはしっかりとあり、フレッシュな黒系果実とリコリスのニュアンスが大きな魅力を与えています。

